設立総会を開催
会長に小河原隆次氏

茨城県防草ブロック工業会

茨城県内で防草ブロックを製造するコンクリート製品企業4社が茨城県防草ブロック工業会（ＩＷＢＡ）を立ち上げ5月28日、ホテルレイクビュー水戸（茨城県水戸市）で設立総会を開催した。

防草ブロックは植物の生長メカニズム「屈光生」「屈地性」を利用して、従来のコンクリート製品の目地形状を変えるだけで雑草が自ら成長を止めてしまう防草技術を備えた製品。多くの有識者から環境製品として高い評価を得て、これまでに昨年10月のグッドデザイン賞ＢＥＳＴ１００をはじめ、エコプロダクツ大賞、発明大賞など6つの賞を受賞。施工実績も平成29年度は82・7㎞（前年度比12・3％増）となり累計では２９８㎞に達するなど、道路の維持管理コスト削減を狙いとして全国的に採用が広がっている。

小河原会長

防草ブロックの普及が進むにつれて、地元ニーズに対応することを狙いにした県別工業会立ち上げの動きも活発化しており、これまでに東海（8社）、群馬（5社）、栃木（4社）、沖縄（11社）、四国で工業会が発足。山口（3社程度）でも準備が進んでいる。

こうした流れを受けて、茨城県内で防草ブロック技術の周知活動を図ると共に県内で防草対策に関する問題を共有し、道路構造や道路事情に合致した防草ブロックの開発・製造・納入に至るまでの課題を迅速に解決することを狙いとして、新たに茨城県防草ブロック工業会が発足することになった。

今後、全国防草ブロック工業会の支部組織として、茨城県内における環境美化と維持管理の簡略化を可能にした防草ブロックを円滑に市場へ供給する体制を整える事を目的として事業活動を展開する。

●総会

総会では同工業会の設立趣旨について説明した後、議案審議に移り平成30年度事業計画・収支予算案と工業会会則・附則について原案通り可決承認した。今期は全国防草ブロック工業会と連携した国、県、各市町村や関係団体、設計コンサルタントへのＰＲ活動をはじめ、会員社の増強、生産体制を整えるための情報共有等を進める計画。

役員人事では、会長に小河原隆次氏（小河原セメント工業）、副会長に宮嵜隆幸氏（千葉窯業）、監事に森田俊哉氏（カイエー共和コンクリート）を選任した。また顧問に防草研究会の石川重規氏が就いた。

総会で挨拶した小河原会長は、「国交省が進めるｉ―コンストラクションの下、省人化・省力化に資するプレキャスト製品の活用に向けた検討が進められている。そのような中、皆さんの賛同を得て茨城県防草ブロック工業会が発足することになった。改めて会員各社に感謝申し上げる。皆さんと協力して茨城県内で更に防草ブロックの普及拡大を図りたい」と抱負を語った。

●研修会

研修会では防草研究会の石川重規氏が「防草ブロックは国内唯一のエコプロダクツ」と題して講演した。石川氏は冒頭「本日6番目の支部となる茨城県防草ブロック工業会が発足した。今、土木業界では防草ブロックが注目されている。しかし現状の追い風に安住することなく、皆さんの手で支部としての追い風を吹かせて欲しい」と祝辞を述べた。

講演で石川氏は２０１２年に施工した愛知県内の中央分離帯防草ブロック施工現場で、防草ブロックと従来ブロックの定点比較観測の様子を紹介し、施工から5年が経過した現在も、防草ブロックを施工した側では雑草が全く生えない一方、従来ブロックを施工した側では雑草の繁茂により目地の剥離が発生し、張りコンクリートが2㎝以上沈下していると報告。雑草の繁茂が道路構造物に悪影響を与えるデメリットを強調した。

防草ブロックの施工実績は平成30年3月末時点で累計２９８㎞（１１７４物件）。施工から10年以上経過した現場も増えているが、いずれも防草効果が保たれている。石川氏は「防草ブロックは環境型の次世代製品として重要な役割を担っている」と述べた。

この他、研修会では歩車道境界ブロックなどの目地材として、共和ゴム（大阪府）が開発した「目地フォーム」を販売代理店の坂内セメント工業所が説明した。

目地フォームは従来のモルタル目地施工に代わるとして開発したスポンジ製（架橋オレフィン系スポンジ）のシール接着式の目地材。施工現場で目地フォームの剥離紙をはがし、境界ブロックに貼り付けるだけなので、境界ブロックを設置しながら目地作業まで完了することができ、設置作業の大幅な省力化・工期短縮に寄与する。歩車道境界ブロック防草タイプの他にも、地先境界ブロック、舗装止めブロック、エプロン付歩車道境界ブロック、鉄筋コンクリートＬ型などに対応。目地フォームの厚みは10㎜だが、それ以外の仕様にも対応。融雪剤に対する耐性も備えている。

茨城県防草ブロック工業会の会員社は次の通り。**【正会員】**▽千葉窯業▽カイエー共和コンクリート▽小河原セメント工業▽武井工業所 **【賛助会員】**富山コンクリート工業、北斗型枠製作所。事務局は小河原セメント工業内に置く。